

子育て世帯向け 町営住宅を整備します

当別町では、当別中学校前の下川町教員住宅の空き住宅を、子育て世帯向け町営住宅に改修する工事を進めています。

企画提案選考で決定した事業者により建物の詳細を決める実施設計が完了し、来年春の入居に向けて現在工事が進められています。

今月号の広報では、設計を担当した株式会社後藤組設計室の後藤智揮さんに、設計に込めた思いなどを、お聞きしました。

設計コンセプト

今回の住宅を設計するにあたって、自分も子どもを育てている子育て世代として、生まれ育った当別町の良さを改めて考え、当別の自然豊かな環境を生かした暮らしができる公営住宅にしたいと考えました。

企画提案のタイトルは「**ここっとう**」としました。子どもたち(子子と)、この場所(此処と)と共に暮らし、共に成長していくという想いを込めています。

すぐ近くに建設中の義務教育学校と併せて、楽しい雰囲気の溢れる空間となるよう、整備を進めてほしいです。

建物概要

所在地 下川町 125 番地 30
建築年 昭和 63 年 (令和 2 年 改修)
間取り 3LDK
戸数 8 戸
1 戸当り面積 68.21㎡

入居の募集は令和 3 年 3 月以降を予定しています。募集要項が決定次第、広報などで周知します。

設計・施工

株式会社後藤組
設計室 後藤智揮さん

【略歴】

昭和 57 年当別町生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、同大学院修了。設計事務所勤務を経て、2013 年に神奈川県にて後藤組設計室を開室。関東と北海道で設計に携わり、住まいの環境デザインアワード、住まいのリフォームコンクール等コンペで各賞受賞。一級建築士、一級建築施工管理技士。

詳細は後藤組設計室ホームページ (<https://www.510gumi.com>) まで。



シンプルな外観デザインとオープンスペースの有効活用



設計者、監督、大工、役場担当で現場打ち合わせ

設計者に聞きました 子育て世帯向け町営住宅のココがオススメ！



キッチンから居間が見渡せます



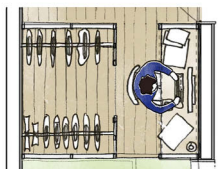
台所はオープンキッチン。食事の支度や後片付けをしながら子どもの様子がわかるので、安心です。畳の間は引戸を引き込めるようにして、居間や台所と一体的に利用できます。

また、居間→畳の間→育てる3帖間→北の間→台所とぐるりと回遊もできるプランです。

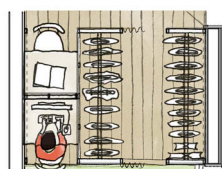
開放的な居間とキッチン

育てる3帖間

子どもの成長に合わせて
変えられる収納空間！



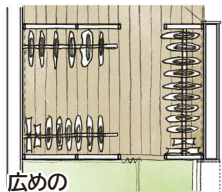
ウォークインクローゼットと書斎コーナー



勉強机とウォークインクローゼット

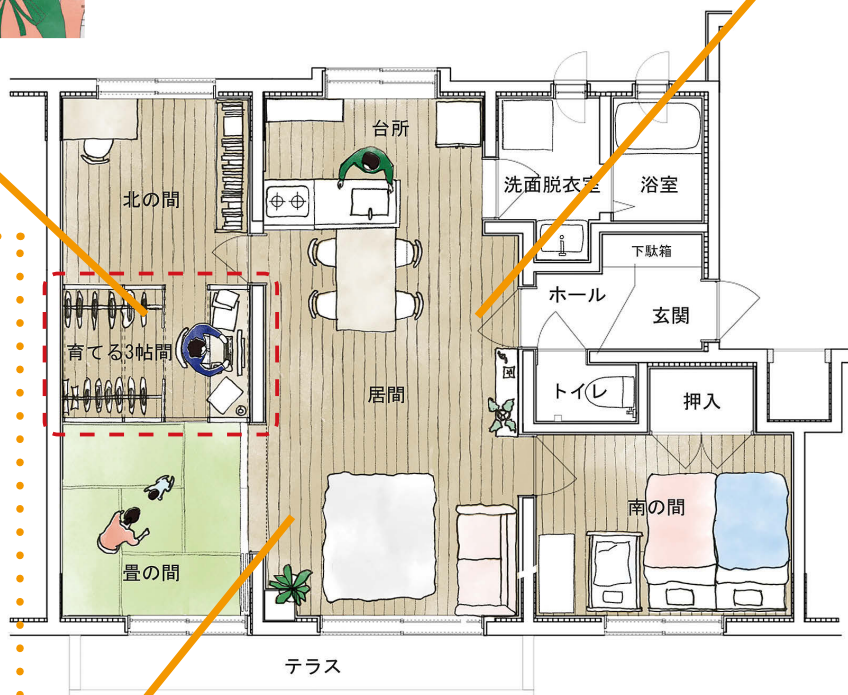


スタディコーナーと2段ベット



広めのウォークインクローゼット

工事は上記4パターン×2戸で整備中です



木を感じられる内装

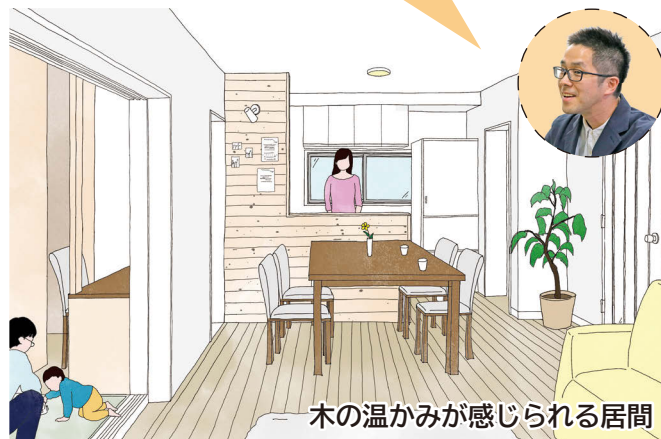


この3帖間は、乳幼児から中高生までの子供の成長に合わせて、内装をDIYで変えられるよう、間柱と合板をビスで留めた簡単な作りになっています。自分の手を動かしてつくることもできる空間で、住宅への愛着をもって暮らしてほしいです。

壁や天井に木材をふんだんに使用し、床はナラ材のフローリングへ貼り替えて、温かみのある空間としています。台所前は道産トドマツ無垢材で、写真などを自由に飾れるイタカベとしています。

その他にも・・・

住戸ごとの別棟のトランクルームや、シンプルな佇まい外観デザイン、防音への配慮（クッション材つきフローリング、石こうボード増貼り）など、工夫を施しています。



木の温かみを感じられる居間

■問合せ 建設課建築住宅係 (☎ 23 - 4044)